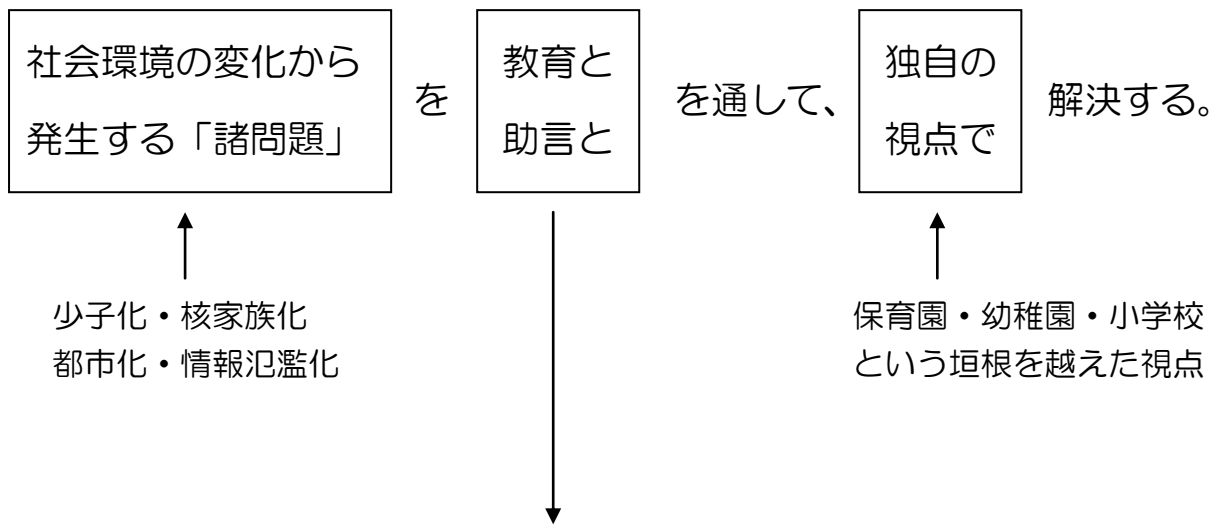


自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

平成 27 年度 事業報告書



1. 教育事業（教育実践を通して）

- (1) 人と関わる力の育成（幼児とその親）…………… 2
- (2) 考える力の向上（幼児・児童）…………… 3
- (3) 体を動かす力の習得（幼児・児童）…………… 4

2. 相談・助言事業（解決方法を研究し、成果をより多くの人に）

- (1) 育児・教育に関する相談と助言…………… 5
- (2) 実践研究とその成果の公開…………… 5

3. その他（地域社会への還元）

- (1) 文化的活動の「場」の提供…………… 6
- (2) 震災時に避難する「場」の提供…………… 6

1. 教育事業（教育実践を通して）

前記スタンスに基づき、下記のような教室を設置し、社会的諸問題の解決に当たった。

（参加人数は最多在籍時の数値）

（1）人と関わる力を育成する教育

公益目的支出事業①

■はじめての教室（対象：1歳～3歳の幼児とその親）

【内容】 他の親子と継続的に関わりあう「場」を設定し、広々とした環境の中でクラス担任のリードの下、幼児には遊びを通して社会性を身につけさせ、親には適宜、アドバイスをしたり勉強会を開催したりしながら子育てに関する不安を解消させる。

【結果】 当年度も多く親子が上記の狙いに沿って活動に参加した。都市部は少子化が進み、近所に同年代の友だちを見つけにくい環境にある。そのため、子どもを「習い事」に通わせることで「遊ぶ時間」の代わりとする傾向がある。当スクールに通う保護者の中にも1歳から習い事をさせているものが珍しくない。しかし、「習い事」は大人（指導者）が子どもの遊びを仕切ってしまうっており、子ども同士の自然な関わりが発生しにくい。幼児期は水泳やバレエ、英会話などの特定の技能を身につけさせるのではなく、自然な友だち関係の中で「人と関わる力」を身につけることが大事であり、当教室の存在意義は益々高まっていると実感した1年であった。

参加者 親子 118 組

内 訳 1歳児親子 45 組（週 1 回・年 33 週の通常保育および
2 日間の夏季保育）

2歳児親子 52 組（週 2 回 or 3 回・年 33 週の通常保育
および 4 日間の夏季保育）

3歳児親子 21 組（週 3 回・年 33 週の保育および
4 日間の夏季特別保育）

保護者に対する指導 1歳児保護者対象に年 7 回の育児指導

2・3歳児保護者対象に年 5 回の育児指導および
社会教養、進路などに関するレクチャー

希望する保護者に対する個別のカウンセリング
を延べ 192 人に実施。

(2) 考える力を向上させる教育

■言語力UP教室（対象：3歳～5歳の幼児）

【内容】 将来、論理的思考ができる人間に育てるため、「幼児なりに」筋道を立てて物ごとを考える経験をさせておく。

【結果】 遊びの中で科学的な現象に触れさせたり、道具の工夫されているところに気づかせたりして、その現象や仕組みを言葉にさせる活動や、社会的な事象を考えるための素材として生かす活動を行った。

たとえば、「音と振動」がテーマの授業では、大太鼓を手で触れて太鼓の革が振動している体験と、大太鼓の前に立って、振動が空気の圧力となって顔に当たる体験の2つを結び付け、大太鼓の前に置いたろうソクの炎が振動で消える原因を探り当てるなど、物事を関連づけて見る姿勢が育ってきた。（4歳児コース）

また、「こうしたらどうなるだろう？」という発展的思考も生まれ、掃除機にアクリル管をつないでティッシュペーパーを吸い取らせる実験では「もっとたくさん繋いだらどうなるの？」「やってみよう。」という興味と関心を膨らませていた。（3歳児コース）

参加者 幼児 94人

内 訳 3歳 39人（週1回・年35回）

4歳 35人（週1回・年35回+2日の夏季授業と言語力診断）

5歳 20人（週1回・年35回+2日の夏季授業と言語力診断）

■学習力UP教室（対象：小学生）

【内容】じっくりと考える時間を与え、的確なヒントを与えることで「学ぶ」こと、「考える」ことの楽しさを感じ取らせ、子どもが本来持っている学習意欲を復活させる。また、軽視されがちな繰り返し学習の大切さを理解させ、習慣づけさせることを狙った指導も行う。

【結果】常設教室では個別にじっくり指導した結果、基本的な学力がしっかりと身についた。また、夏季教室では小集団で他者の意見もよく聞いて考えることで、物事を多角的に見る経験もさせられた。

参加者 常設教室 小学生 12人（週1回・年35回）

夏季教室 小学生 26人（夏休み6日間集中）

(3) 体を動かす力を習得させる教育

■体育教室（対象：2歳児～児童）

【内容】 幼児には、歩く・走る・投げる・回るなどの基本的な体の動きが「満遍なく」できるようにし、「体を動かすことの楽しさ」を幼児期に覚えさせる。

児童には、自分の体を操る基本的能力を「いろいろな運動」を通して身につけさせ、運動に対する「苦手意識」を持たせないようにする。

【結果】 幼児には、ただ単に「走る」「投げる」「回る」などの動きを体験させたのではなく、将来、体験する「全力疾走」「走り幅跳び」「走り高跳び」「ボールゲーム」「器械体操」などの動きを想定した「遊び」に運動を仕立ててあるため、小学生になったときに「種目」への取り組みも円滑になったことが確認された。児童には「器械体操」系の種目を中心に指導した。楽しく自分の力に応じた上達を促すことで、自信をつけさせることができた。

参加者 幼児 131人（週1回・年間35回＋夏季集中授業4日）
小学生 57人（週1回・年間35回＋夏季集中授業6日）

■剣道教室（対象：小学生・中学生）

【内容】 剣道を通して心身ともに自己を強く逞しくする。

【結果】 剣道では「気・剣・体」の一致が重視され、子ども達にも「気構え」と「技」、そしてその2つを支える「体づくり」の大切さを教えていった。また、自ら努力することの大切さを説いていったところ、稽古開始が10時であるのに、9時20分ごろに道場に現れ、指導者に稽古を仰ぐようになった。親に言われて通うのではなく、自らの意志で強くなりたい。だから努力をするという姿勢が顕著に表れた場面であると言える。

参加者 小学生 12名（週1回・年35回）

2. 相談・助言事業（解決方法を研究し、成果をより多くの人に）

（1）育児・教育に関する相談および助言

公益目的支出事業②-1

【内容】 以下のような形で育児や教育に関する相談を受ける。

- ①前記教室に参加する親からの相談を、教室以外でも随時受ける。
- ②教室に通えない親の電話相談や来訪相談等にも応じる。

【結果】 個別の相談はなかったが、名鉄学園からの依頼で系列の幼稚園3園で保護者60人に対し、育児に関する講演を行なった。

（2）実践研究とその成果の公開

公益目的支出事業②-2

①帰国外国人児童生徒教育の支援

【内容】 日本語力が不十分な児童生徒の言語習得、教科学習フォローの仕方について、小中学校等の教員、ボランティア団体指導者の研修をする。

【結果】 平成27年度は以下のような団体に出向き、研修を行った。

（独）教員研修センター・神奈川県教委・松阪市教委・東京外大・JTMとくしま日本語ネットワーク・西東京市多文化共生センター・子ども支援ネットくまもと・千葉市JSL児童生徒支援の会・山梨外国人権ネットワーク・金沢市立泉小学校・町田市国際交流センター・高崎市国際交流協会の全12回670人に研修をした。

研修会受講者アンケートより

わかりやすく役立つことがもりだくさんでした。子供の将来の事を考えてどのようにすればわかりやすいかとよく考えて指導されていて長期的に日本語指導をとらえていらっしゃるのでもとても参考になりました。教科指導をする時に結びつくような事も日本語を教える時に頭に入れておくことはとても大切だと改めて気付かせてくれました。ありがとうございました。

（7月18日実施のJTMとくしま日本語ネットワークの研修会受講者のアンケートより）

②研究・調査とその公開

【内容】 平成25年・26年度に国立教育政策研究所の委員として外国人児童生徒の散在地域における支援の在り方の研究を行ったが、その成果を国策に生かしてもらうために、文部科学省初等中等教育局国際教育課に対するプレゼンテーションを行った。

3. その他（地域社会への還元）

財団の事業としては位置づけていないが、必要に応じて次のような協力をした。

（1）文化的活動の「場」の提供

【内容】近年、地域の人々の文化的活動が活発になってきているにも拘わらず、公民館などの公共の場の確保が難しくなっている。そこで、活動の場を無償または実費で提供することで、文化的活動のサポートを行った。

【結果】会員の同好会への会場提供

ヨーガの会	年 33 回 (4 人)
ブリッジの会	年 34 回 (9 人)
書の会	年 29 回 (9 人)
コーラスの会	年 12 回 (約 50 人)

（2）震災時に避難する「場」の提供

【内容】耐震化を進め、震災時に地域の人々の避難場所となるようにする。

【結果】今後、予想される東京直下型の地震の時は、会員でも相当多くの帰宅困難者が出るほか、歩いて帰宅する一般住民が途中で帰宅を断念し、宿泊する場所を必要とすることも考えられる。そのような事態に対応できるよう毛布や食料などの備蓄量を増やす方向で検討を進めている。今年度は幸いにもこの協力をしなくてもすんだ。